



2021 MotoE World Cup

Hikari Okubo 大久保光

2021.8.15 オーストリア GP 予選4番手 決勝5位



大久保光は、MotoE 戦のインターバルの間に 7 月 15 日に三重県鈴鹿サーキットで開催された全日本ロードレース選手権第 5 戦 JSB1000 クラスに EVA RT 初号機 Webike TRICKSTAR から Kawasaki/ZX-10RR を駆り参戦しました。同クラス参戦は 2017 年以來となりますが、予選 12 番手につけ、レース 1 決勝 9 位、レース 2 決勝 10 位を獲得。この参戦は鈴鹿 8 時間耐久へのテストであり、大久保は、その役目をしっかりと果たした。その後は、北海道十勝スピードウェイで行われた地方選に参戦、ポールポジション（PP）を獲得するが、雨が激しく決勝を走ることは断念しました。ふたつのレース参戦という忙しい夏休みを過ごし、大久保は欧州へと戻ります。

MotoE 第 5 戦は、オーストリアのレッドブルリンクで開催されました。大久保は予選に挑み、4 番手タイムを記録します。PP タイムは 1 分 35 秒 306、大久保は 1 分 35 秒 592 と PP タイムに迫ります。表彰台への期待も大きくなる結果となりました。

決勝日は、不順な天候となり、MotoGP は、決勝終盤の雨でフラッグ・トゥ・フラッグが実施されました。MotoE 決勝も、雨が降ったり止んだりの天候となり、大久保は天気が回復すると読んでスリックタイヤ（晴れ用）を選択してグリッドに着きました。路面の状況は微妙だったこともあり、序盤は慎重に走りますが、そこで、順位を落とし7番手まで後退、そこから、追い上げ、最終的に5位でチェッカーを受けました。

3番手争いのライダーたちとは、遜色ないタイムを記録しており、確実に表彰台を狙える力があっただけに、悔やまれる結果ではありますが、大久保にとって5位は今季最高位でもありました。





大久保光

「E ポール（ひとりでタイムアップする）に慣れて来たこともあり上位のタイムを記録することが出来ました。インターバルの間に全日本鈴鹿に出て 1000 に乗り、鈴鹿では、ベストタイムの出し方などを工夫してトライ出来たことが良かったと思っています。十勝スピードウェイは、初めて走るサーキットでしたが、ここでも、知らないコースでもタイムアップすることを考えて走りました。このふたつのレースでトライしたことがEポールでのタイムアップに繋がったと思います。

決勝は、最初を慎重に行き過ぎた反省があります。でも、転倒のリスクも大きかったので、この判断は攻めて行くべきか、冷静に行くべきか、難しかったと感じています。その後は、ペースを守り、追いつけて順位を挽回して、今季最高位である 5 位に入りました。5 位に入れたことが嬉しくもありますが、表彰台争いが、目の前だったので、やっぱり、悔しい気持ちの方が大きい。MotoE は、残り 2 戦。そこで、今季最高と言える納得できる走りを狙います」

大久保はワールドスーパースポーツ 600 への代役参戦の声がかかり参戦することになりました。帰国予定でしたが、欧州に留まりレース参戦します。様々なチームから声がかかるということが、今の久保の力を物語っています。

※MotoE 第 6 戦ミサノ・ワールド・サーキットで、9 月 18 日、第 7 戦は同所で 9 月 19 日に開催され、第 7 戦が最終戦となります。